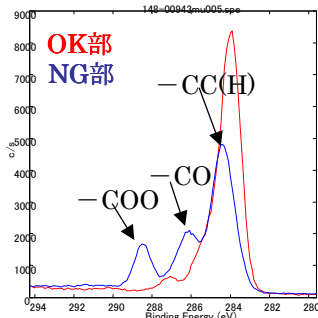


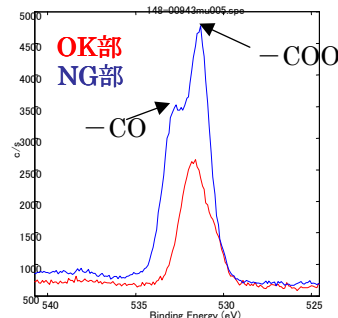
接着不良：XPSによる解析事例

接着剤面

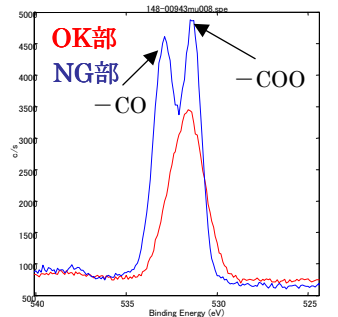
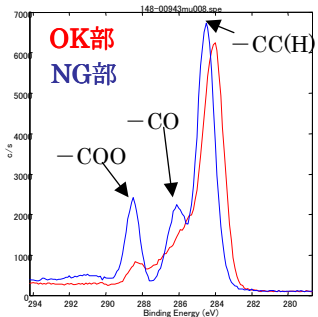
C1s Narrow Spectrum



O1s Narrow Spectrum



離型面

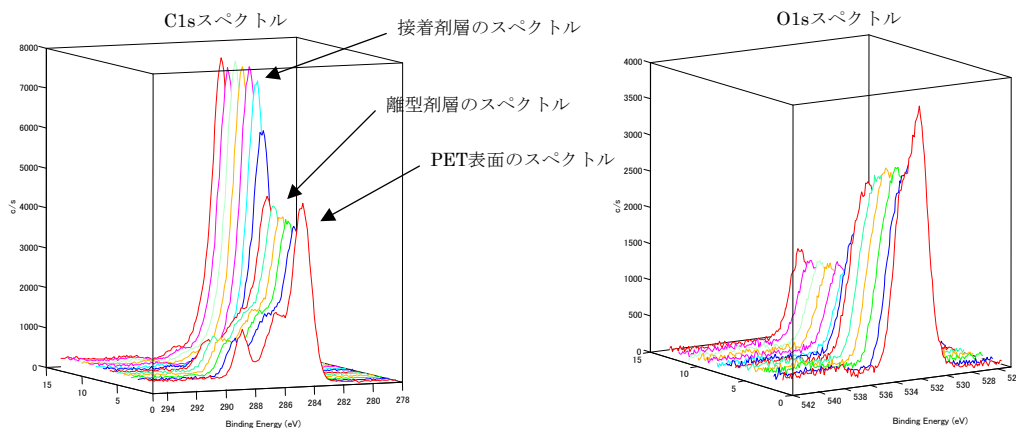


接着剤面と離型面のスペクトルを比較すると、NG部ではほぼ同一のピークが確認され、PETが両面に存在していることが示唆された。



巴川分析センターは分析力でモノづくりを支援します。まずはお気軽にご相談ください。TEL:054-256-4163
 FAX:054-256-4214 URL:<http://bunseki.tomoegawa.co.jp> E-mail:bunseki@tomoegawa.co.jp

接着剤側NG部のC₆₀イオン銃Depth Profile



接着剤側NG部のDepth Profile、C1s測定結果から、PET→離型層→接着剤層と考えられるスペクトルの変化が確認されました。すなわち、離型側のペットフィルムの表層が剥離していることが原因で、接着不良が生じていることが確認できました。

巴川分析センターは分析力でモノづくりを支援します。まずはお気軽にご相談ください。TEL:054-256-4163
 FAX:054-256-4214 URL:<http://bunseki.tomoegawa.co.jp> E-mail:bunseki@tomoegawa.co.jp